

園長だより (♡) No. 38 R7. 2. 10 (Mon)

石少場で遊んでいたA君とBちゃん。片付けの時間になり、砂場のおもちゃを先生が洗って、子ども達が一つひとつ色ごとにその色の籠に入れてくれました。A君もBちゃんも張り切ってお手伝いをしてっていると、ふと、ひとつのおもちゃに2人の手が重なったんです。私も内心「あっ、ん」と思っ... 取り合ひになっちゃうかな〜? との懸念もありつつ、敢えて見守っていると、2人で顔を見合わせた瞬間、にっこり笑い合ったんです。そして、その笑顔のまま2人で1つのおもちゃを持ち、仲良く籠に入れたんです。極めつけが、入れた瞬間も2人で、これまた仲良く見つめ合い笑顔も交わすという神々しさ!!

このかわい過ぎる! 優し過ぎる! 温か過ぎる! 光景に、観ていて私は胸を射抜かれてしまいました。! すぐさま担任のクラスの先生の所に走って行って、この次第の詳細を語り尽くし、「え〜 観たかったですぅ〜」なんて言ってくれる担任の先生の、この上なく嬉しい反応に十分満足して、その場に居られた優越感に浸っていた私♡

子ども達と過ごす日々の現場では、笑は成長と共に、衝突も随所であります。反面、この学期の今の時期は、そんなぶつかりあう経験の数々から、自分の心にも折り合いがつけられるようになり、人々からの優しさ思いやりを受け、その温かさが宿り、自身にもそんな柔かい心が芽ばえ、譲る事、許せる事が出来るようになります。

結果、こんなにも素敵な場面に直面する事も、たくさんあるわけです。これも、朝の自由遊びの何気ない一場面ではありますが、こうして真白な子ども達に囲まれ、幼いからこそ極上の温かさ、優しさ溢れる場で働かせて頂けている事にも改めて心から感謝しました!

PS. そして、こんな心同士のだったら、この世に「争い」なんて、無いんだろな〜なんて思いました!!

この時、私は、喜びを共有してくれた担任にもすごく感謝しました! そして思いました! 想いを共有して貰えるって、こんなにも嬉しいものなんだな〜! と。また、この人に何かあったら話したいなって、思っていますものね! コミュニケーションカって、こうして育っていくものなんですもん! だから、子どもの「ねえねえ聞いて!」「ねえねえ、見て!」に耳を傾け、目を向けたいといけななんだな〜と、身をもって実感したわけですよ!!

